

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
アインクラブ大森		2025年 1月 30日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	11	0	スペースは適切であるが、中高生の身体が大きくなった児童が増えると狭く感じる事が有る為、フロア内には物をなるべくおかないようにしている	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	11	0	職員の配置数に関しては、適切になるようシフト作成しているが、体調不良などで当日の欠員が出る事がある	当日の欠員が出た際にでも対応できるように、採用活動を続けていく
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	11	0	情報伝達のツールをこどもの特性に合わせて行い、分かりやすくように工夫している、また自施設が2階の為階段があるが、必ず職員1こども1で手を繋ぎ、安全に登れるよう配慮している	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	11	0	終業後には、整理整頓と清掃をしっかりと行っている	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	0	11	個別の部屋が事務所内の相談室しかない為、必要に応じて保護者と相談した上で、相談室を使用できるようにしている	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	11	0	年2回の職員面談を実施、また必要に応じて職員会議などでも話し合っている	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11	0	年1回の保護者アンケートを実施し、頂いたご意見を元に会議等で話し合い、改善に努めている	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11	0	職員会議内での意見や「小さな気づき箱」に意見を入れてもらい、改善に努めている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	8	以前、第三者委員会を受審したが、今後も受審していく予定	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	11	0	年6回の内部研修を実施するとともに、東京都や自治体が実施している研修などにも受講している	
適	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	11	0	支援プログラムは作成されている	今後、作成したプログラムをHPに載せる予定
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	11	0	計画書更新前には保護者面談をお願いし、自宅や学校での様子、今後の課題などを聞き取り、客観的に分析し作成している	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	11	0	職員会議内で話し合い検討した上で作成している	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	11	0	計画書の内容を全職員に周知した上で、計画に沿った支援を心掛けている	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	11	0	五領域を含めた自施設独自のアセスメントと日々の行動観察を行い確認している	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	11	0	設定されている	

切 な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	11	0	活動会議内で、職員から様々な立案をしてもらいながら行っている	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	5	固定化しないよう様々なプログラムが立案されるが、気が付くと固定化されてしまっている	固定化しないように、スモールステップで行う努力を心掛けていく
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	11	0	個別活動と集団活動を組み合わせた支援を行っている	集団活動の方が多いため、今後は個々の能力に合わせた個別活動を、より多く行えるようにしていく
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	11	0	支援開始前には職員間で、その日の児童の注意点や支援内容を確認し支援を行っている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	11	0	支援終了後は、その日あった出来事や気が付いた点を日報にあげて、全職員で共有している	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	11	0	日々の記録をとり、職員会議などで検証と改善に努めている	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	11	0	モニタリングを実施した上でみなおしをおこなっている	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	11	0	行っている	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	11	0	行っている	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	11	0	児童発達管理責任者が参画している	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	11	0	連携して支援を行っている	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	11	0	学校お迎え時に先生と情報共有を行う等、適切に行っている	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	11	0	利用開始前に、保護者から保育所などからの資料を提供して頂き、相互理解に努めている	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	11	0	今までの経緯や支援内容等の情報をまとめた物を保護者へお渡しし、保護者の判断で移行先に提出してもらっている	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	11	0	助言を求めたり、研修に参加してもらっている	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	11	0	品川区主催のスポーツフェスタなどに参加し、交流する機会を設けている	児童クラブや児童館との交流は行えていないため、今後は取り入れていく
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	11	0	児童発達管理責任者が参加している	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	11	0	送迎時などに、児童の様子などをお伝えし共通理解ができるよう努めている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	11	0	行っている	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	11	0	契約時に説明を行っている	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	11	0	計画書更新前に保護者面談をお願いし、家族の意向を確認している	

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	11	0	説明を行い同意を得ている	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	11	0	必要に応じて面談や助言等を行っている	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	11	0	年1回保護者会を開催し、OB保護者をお招きしたり、保護者同士の交流の場を設けている	年1回の開催では少ないという声がある為、今後は開催数を増やして行く予定
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	11	0	苦情については対応体制を整備し、苦情があった際には保護者へ周知するとともに、迅速に対応している	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	11	0	アインクラブ大森通信を年2回発行し配布を行うとともに、活動予定表を毎月配布している	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	11	0	契約書などは鍵付き書庫にて管理を行い、PCについては限られた職員のみ使用するようにしている	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	11	0	お知らせなどは連絡帳に記入するほか、必要に応じてお手紙を配布する、口頭でもお伝えする等、配慮している	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	11	0	イベント時には近隣住民の方々にお声掛けを行い、参加して頂けるようお願いをしているとともに、定期的にボランティアに来て貰っている	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	11	0	各マニュアル策定をし、契約時及び年度替わりに配布を行い周知している	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	11	0	BCP策定を行い非常災害発生に備えて、必要な訓練を行っている	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	11	0	利用契約時に確認を行うとともに、その都度保護者に確認を行っている	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	11	0	保護者から医師の指示書を頂き、指示書に基づいて対応している	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	0	11		今現在、安全計画が作成されていない為、早急に作成し研修や訓練を実施していく
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	0	11		安全計画を作成したのち、保護者へ周知していく
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	11	0	ヒヤリハット事案が発生した際には、その日のうちに話し合いを行い報告書を作成するとともに、日報にて全職員へ周知している、また会議内でも話し合いを行っている	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	11	0	年2回の内部研修を行うとともに、東京都や自治体が開催している外部研修に参加している、また外部研修受講者は他職員へ伝達研修を行うようにしている	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	11	0	必要に応じて管理者含めた会議を行い組織的な決定をし、保護者へ説明と了解を得て計画書へ記載している	